

令和5年度事務事業評価シート

令和5年3月14日

事業番号	372	担当課等	財政課							
事務事業名	まちづくり寄附金推進事業									
予算科目コード	会計	1	款	2	項	1	目	3	事業開始年度	平成26年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 社会環境の変化 に対応した行政 運営の推進	8 財政運営	(1) 財源の確保・拡充	自主財源の確保				
関連する個別計画	湯河原まちづくり寄附金推進事業実施要綱								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目 的	湯河原まちづくり寄附条例に基づく寄附の推進を図るとともに、町内産業の活性化に寄与する								
対 象	寄附をしてくださった町外の個人又は団体								
内 容	寄附をしてくださった町外の個人又は団体に対し、その寄附金額に応じて、記念品を贈呈するもの								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)		
	事業費		133,414,711	139,344,242	276,970,952		
	人件費	常勤職員	3,507,000	3,428,000	3,616,000		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	3,507,000	3,428,000	3,616,000		
	総事業費		136,921,711	142,772,242	280,586,952		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源		133,414,711	139,344,242	276,970,952		
	一般財源		3,507,000	3,428,000	3,616,000		
	財源合計		136,921,711	142,772,242	280,586,952		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
記念品代			寄附金額に対する記念品代のため	円	91149198	94363282	95000000
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
寄附件数			事業に対する寄附実績のため	円	3381	3250	3300
寄附金額			事業に対する寄附実績のため	円	383417295	394099400	400000000

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	町に対する寄附行為を推進するものであり、自主財源の確保に有効であるため、必要性は高い。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	事業費以上の寄附金額があり、効率性は高い。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	上記により効率性は保たれているものの、更なる推進を図る必要がある。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	寄附いただいた個人又は団体に対する記念品の贈呈であるので、公平性は高い。
令和4年度までの自己評価または改善点	ふるさと納税自動販売機の仕組みを利用したタブレット型端末を宿泊施設に設置し、寄附者の利便性向上に努めた。また「made in ゆがわら認定審査委員会」と連携し、新たな地場産品としての返礼品の発掘に取り組んだ。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	1
令和5年度の見直し及び改善予定	アフターコロナに向けリアルイベントへの積極的な参加や、町の魅力や返礼品の紹介等広報周知に努め、貴重な自主財源の確保のため事業を推進していく。
令和6年度以降の方向性	本町の自主財源の1つとして大きな役割を担っていることから、引き続き本町の魅力をPRし、多くの寄附を募っていききたい。 また、更なる推進のため、リアルイベントへの参加や飲食店への電子感謝券の導入など面的DXの推進を図っていくことを検討している。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(拡大)	本町の自主財源の確保に大きく貢献する事業であり、今後も継続していく。
---------	--------	------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(拡大)	一次評価と同様
---------	--------	---------